

学校関係者評価報告書

愛媛県立新居浜南高等学校

学校番号 (6)

評価実施日	平成31年2月22日(金)
委員(11名)	学校関係者評価委員(総合学科育成会会長、PTA会長、 総合学科育成会副会長、PTA副会長3名) 学校評議員5名

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>①組織運営等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『「磨け個性、社会のために」一考える力を育み、地域を支える人づくりー』の下、魅力ある学校づくりがなされている。 ○校長の言うキーワード、「考える」はとてもよいと思う。 ○教職員の負担軽減と業務の平均化を進めてほしい。 ○「学校生活が充実している」と回答する生徒の割合や「子どもを入学させてよかった」と回答する保護者が多く、満足度が高いのはよいと思う。 ○全校一丸となって取り組んでいる様子がかがえ、相互理解がなされている。 ○学校行事等で教員一人一人がそれぞれの持ち場で積極的に活動しており、教職員一丸となった学校経営が見える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○『磨け個性、社会のために一考える力を育み、地域を支える人づくりー』を目標に掲げ、実践してきたが、一定の評価を得ている。今後も、生徒や保護者に「本校に入学してよかった」と思ってもらえるように教職員が一丸となって取り組んでいきたい。 ○教育目標に対する教職員の共通意識をさらに強固にし、一人一人が学校経営に積極的に参加する組織づくりを強化したい。 ○学校業務のビルドアンドスクラップにより、業務の効率化を図り、「働き方改革」を推進していきたい。
<p>②教育課程・学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合学科としてのアドバンテージがよく生かされている。 ○総合学科は魅力的であり、南高の人気は高まってきているのではない。 ○少人数の個別指導が実施され、生徒にとって分かりやすい授業が実践されている。基礎学力が身に付いたと感じている生徒が多い。 ○目標がしっかりしており、自ら考え、深め、自分のものにするための支援がしっかりなされている。 ○総合学科の特性に応じた教育課程が編成されており、生徒の多様なニーズに応じる工夫がなされている。 ○授業アンケートの結果を見ると、授業が充実しており、それは学校が充実していることに他ならないと思う。 ○生徒の家庭学習時間は、昨年・一昨年と比べるとやや減少傾向が見られるが時間数としてはよいと思う。家庭学習時間の調査自体にも意味はあると思うが「家庭学習時間が増えたことによって生徒の何が変わったのか、どこが変わったのか」の評価・評価方法について考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合学科の魅力を積極的に発信するとともに、総合学科ならではの教育について研究を深め、生徒の多様なニーズに応じた教育課程の編成を目指していきたい。 ○「主体的・対話的で深い学び」について、授業の在り方の研究や改善を進め、生徒の学習意欲の高揚を図っていきたい。 ○家庭学習の重要性を生徒に説き、学習時間の量的増加を図るとともに、質的向上が達成できるように指導方法を工夫していきたい。 ○生徒の変容について、数値的に図ることが難しい部分について、その評価の在り方や方法を工夫していきたい。
<p>③生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの生徒も清潔感があり、気持ちが良い。 ○挨拶もよくでき、気持ちが良い。 ○適切な指導がなされていると思う。 ○「遅刻・欠席が多い生徒への段階的指導を行い、生活習慣の改善を促している」の項目について、教師の評価が低いので改善をしてほしい。 ○自らを律する人づくりらしさを感じる生き生きとした生徒が育っていると思う。 ○日々の生徒指導もよくできていると感じる。 ○南高生は、表情が明るく、素直に相對してくれる。しっかり目を見て話してくれるなど、気持ちが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導の在り方について、教職員間で共通意識を深め、学校全体としての取組を今後とも推進していきたい。 ○各種の集会等において、高校生としての身だしなみの在り方や整えることの意義の指導を継続して行いたい。 ○交通安全に対する意識を高揚させ、法令遵守はもちろん、交通マナーの向上について考えさせ、指導を進めていきたい。 ○交通事故、特に、自転車乗車時の交通事故ゼロを目指して指導を強化したい。

<p>④進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が就職する地域が概ね県内であり、よいと思う。 ○社会性の定着と習慣化への指導を今後も継続してほしい。 ○責任を持って最後までよく指導してくれている。 ○生徒の評価が全項目で85%を超えており、進路指導に安心感を得ていることが分かる。今後も充実にも努めてほしい。 ○進学にしろ、就職にしろ、すばらしい成果である。 ○就職率・進学率ともに100%であり、進路指導の成果は上がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後とも、地域に密着した、3年間を見通した進路指導を推進していきたい。 ○各年次で、生徒の発達段階に応じた進路に関する情報を提供し、生徒の進路選択・進路決定に役立てていきたい。 ○生徒の多様な進路ニーズに対応するために、教職員も研究を進めていきたい。特に、入試制度改革に関する情報を広く収集するとともに、生徒に還元していきたい。
<p>⑤特別活動・ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施件数・活動内容ともに、本年度の活動もすばらしいと思う。 ○ユネスコ部の活動が南高のアピールにつながっている。 ○様々な方面で南高生がよく活躍していると思う。 ○生徒・保護者・教員ともに高い評価が出ているように、地域においても目に見える活動がたくさんあり、とても充実している。 ○毎年、各種の行事に参加させてもらっているが、自分自身がいろいろな刺激や学びをもらっており、感謝している。 ○いろいろな分野での活躍がすばらしい。 ○VYS部とユネスコ部は、地域との関わりの中で多彩なボランティア活動を熱心に行っており、市民からも高い評価を受けている。 ○体育局の諸部活動もすばらしい成果を収めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動については、現在、地域から高い評価を受けている。今後、VYS部・ユネスコ部・生徒会等の一部の生徒だけではなく、全校を挙げて取り組めるような意識の高揚を推進していきたい。 ○各種行事について、予定や結果を保護者や地域に周知し、より多くの方に参加していただき、生徒の活動を見ていただけるようにさらに工夫していきたい。 ○運動部活動・文化部活動とも、より一層活性化させ、生徒が活躍できる場面を設けるよう取り組んでいきたい。
<p>⑥保健管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○迅速な対応ができています。 ○生徒や保護者にとって、安心・安全な学校生活が保障されていることが評価から読み取れる。これからも、安心・安全を第一とした学校であってほしい。 ○休まず遅刻せずは、心身ともの管理が行き届いているからだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の施設・設備を常に点検・整備し、生徒にとって安心・安全な教育環境を維持するよう取り組んでいきたい。 ○自然災害に対する防災教育・備えなどの安全教育を推進するとともに、危機管理マニュアルに基づき、有事の際、適切な行動が取れるように、必要な研修等を実践する。
<p>⑦人権・同和教育、特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員は、よく研修等に参加している。 ○学校の活動において、人権意識を高めるような授業やボランティア活動ができておりすばらしい。今後は、特別支援活動にもより力を入れてほしい。 ○人は人として人となる。一人一人違っていい人を思いやり尊敬できる人はすばらしい。 ○新居浜特別支援学校とも連携しながら立派な成果を上げている。人権・同和教育と特別支援教育は一体のものだと思うので、特別支援学校との連携を図ることは、人権・同和教育の推進にもつながると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員が人権・同和教育に関する各種研修会に参加する機会を計画・確保し、さらに研鑽に努める。 ○人権だより「皆見(みなみ)」を来年度も継続して発行するとともに、紙面を工夫するなど、人権・同和教育の周知・広報に努める。 ○新居浜特別支援学校との連携を来年度も継続して行い、生徒や教職員・家庭の人権意識高揚に努める。
<p>⑧図書・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が気軽に立ち寄れる場所としてよく整備されている。 ○図書館は充実していると思う。 ○図書の貸出冊数が減っているのが残念である。1・2年次生に図書館利用を勧めてほしい。 ○生徒の読書への興味・関心は高まっているようだが、図書の貸出冊数が少ないのが残念である。 ○読書は心の教養になるので、活字離れのないようにしてほしい。 ○図書館の環境整備などを通して、図書館利用の指導が行われているが、貸出冊数ではやや減少が見られる。「図書の貸出冊数の増減によって生徒の何が変わったのか、どう変わったのか」の評価や評価方法を考えてほしい。 ○生徒の活動発表の機会はたくさんあるが、教員の授業公開が少ないので、増やしてほしい。 ○教職員の研修も適切に行われていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○貸出冊数の減少について、原因を考察するとともに、図書館のさらなる整備に努め、貸出冊数の増加を図りたい。 ○貸出冊数だけでは分かりにくい生徒の変容について、検証する方法について研究を進めていきたい。 ○今年度、多くの教科で校内研究授業を行ったが、来年度も継続して実施していきたい。 ○公開授業週間について、地域に広く周知する方法を工夫し、保護者をはじめ、多くの方に見ていただけるような工夫をしていきたい。 ○校外の研修機会に関する情報を周知し、教職員の研修の場が確保できるように工夫したい。

<p>⑨ ICT（情報通信技術）教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの内容は、うまくまとめられていて読みやすい。 ○校内のICT機器の充実度についてはよく分からないが、ICT機器を整備し、それらを活用することによって教育の質は変わると思う。今後、より充実に努めていくことが大切だと思う。 ○すばらしい情報教育がなされていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの更新回数や内容を吟味し、広く地域社会に情報を発信できるように継続して取り組みたい。 ○ICT機器の整備・拡充を進めるとともに、その効果的な使用方法や活用方法について研究を進めていきたい。
<p>⑩教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巧妙化、隠れいじめをいち早く発見し、その対応や相談体制を構築してほしい。 ○「学校内に自分の悩みを聞いてくれる先生がいる」という生徒が77%である。目標として、100%を目指してほしい。 ○自分を大切に、他人も大切にできる人を育ててほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談課を中心として、各年次団・スクールライフアドバイザーと連携しながら、生徒が相談しやすい環境を作り、生徒の悩み等の把握に努める。 ○定期的にアンケート調査を行い、いじめの未然防止と早期発見・早期対応に努める。
<p>⑪保護者、地域住民との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域密着型の高校であり、地域からの協力も得られていると思う。 ○新居浜市の中で、地域との連携が最も取れている高等学校だと思う。今後も、小中学校や公民館も含めて連携をお願いしたい。 ○お互いが信頼し合い、協調できる関係づくりを今後とも進めてほしい。 ○生徒も保護者も学校生活を楽しんでおり、満足できる。 ○南高に進学した先輩の姿を見て、南高への進学を希望する生徒が多い。これは、進学した生徒が学校生活に満足し、後輩に伝えている部分が多いと思う。そこで、南高で学んでいる生徒の様子や活躍する姿を後輩たちに見せられる機会を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者をはじめ、地域との連携により、生徒が主体的に学習に取り組めるような環境づくりを推進する。 ○ホームページや配付プリント等で学校の様子や生徒の活動の様子を公開し、保護者や地域から広く御意見をいただくことで、学校の魅力化推進につなげていきたい。 ○生徒が校外で活動できる機会や場所を確保することによって、学校と地域社会との結びつきを強め、地域から愛される学校づくりを目指していきたい。
<p>⑫「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ライフスタディ」の学習を通して、コミュニケーションもよくとれておりよいと思う。 ○南高の「ライフスタディⅠ・Ⅱ」は、学校が目指す重点目標を（マニフェスト）達成に向けて、最も充実した活動であると思う。 ○毎年、学年に応じた発表がなされており、すばらしい。 ○ユネスコ部やふるさと学習等でお世話になっているが、「ライフスタディ」の発表会等に中学生も参加（見学）させていただいたり、南高の生徒に出前授業として来校してもらえるとありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の大きな特徴でもある「産業社会と人間」「ライフスタディⅠ・Ⅱ」について、活動を発展・拡充することで、生徒が自分の将来について明確な目的意識を持ち、自己実現に向けて努力していくことにつなげていきたい。 ○生徒が実践した体験的な活動をまとめ、保護者や協力いただいた事業所等に向けて発表することで、学習がより深化するよう指導を工夫していきたい。 ○生徒の発表の様子をより多くの方に見ていただけるように、場所や時期・公開の対象を検討し、地域のニーズに応えられるように工夫し、努力したい。
<p>⑬事務管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いつも丁寧に対応してもらい、気持ちが良い。 ○事務室の電話対応等は、丁寧で気持ちが良い。今後、施設・設備の整備や充実に努めてほしい。 ○信頼できる学校づくりのために、陰でよく支えていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や地域から高い評価を受けている電話や来客者の対応等について、今後とも継続していきたい。 ○施設・設備の整備と充実に努め、教育環境を整備していきたい。

<p>⑭総合評価・提言等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンへの対応はどうなっているのか。 ○ブロック塀の対応はどうなっているのか。 ○人を育てるということは、すぐに結果や成果が出るものではないので、長い目を見て、今を真剣に取り組み、毎日の過程を大切にできる人づくりを今後とも続けてほしい。 ○マニフェストは、数値目標が並んでいる。数値目標は具体的でよいという面もあるが、対象や観点が数値化できるものに限定されるという弊害もあると思う。数値化できないところに教育の本質があるように思う。 ○生徒や保護者に対するアンケートについて、質問の表現が難しいものがある。表現方法を工夫してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度からスマートフォンの学校への持ち込みは可としている。校内では電源を切りバッグにしまうなど、校則の遵守を徹底させるとともに、情報モラルなど適切な使用方法等について、折に触れて指導を継続したい。 ○ブロック塀について、校内を調査し、危険と思われる箇所は、来年度、改修を予定している。 ○比較的評価しやすい数値目標については、結果を検証し、来年度の改善していきたい。また、数値化できにくい生徒の変容等について、検証の方法を検討・研究し、評価できるものは評価できるようにしていきたい。 ○生徒や保護者に対するアンケートについては、その表現方法を検証し、質問の意図がはっきり伝わるようなものに改善したい。
--	--